



2003年

6月号

平成15年5月25日発行
通巻54号

みなさんへのお知らせ

NPOチームのニューフェイスです!

4月からNPOチームに配属となり、はや5月も半ば過ぎとなりました。街路樹のみずみずしい楠若葉、樺若葉。季節のうつろいを楽しませてくれます。

皆さんこんにちは。中村です。

さて、NPOですが、これまで正直いって認識不足で「NPOで何それ?」そういえば、NPOは地方分権、情報公開とならんで真の民主主義を根づかせるための必須アイテムだ、とか、今後は行政と市民活動・NPOとの協働が重要である、などとどこかで聞いたことがあった。でもとりあえずは自分とは無縁の異星人の世界だ。」のレベルでした。

しかしながら、マスコミで見聞きするボランティアや市民活動団体の人たちは、行政や他人まかせでなく自分たちで世の中を何とか良くしたいと行動しており、その存在は閉塞感漂う日本にとって一つの光明であると感じていました。

NPO法施行からすでに4年余が経過し徐々にNPOは一般に認知されつつあり、いっそう社会的信用を得ることが求められ、また、行政も民間の感覚を取り入れて風通しを良くしようと努力し始めています。協働をつうじてお互いに高めあっていければ、また、少しでもそのお役にたてれば、と思います。

皆さんの情報提供でなりたつ市民活動・ボランティアニュースです。どうぞお気軽にご意見、ご要望、そして情報をお寄せください。原稿締め切り期限やスペースなどの多少の無理は前回登場の森下がご相談に応じます。(きっとそのはずです。)

よろしくお願ひします。

三重県生活部NPOチーム 中村敏孝



発行

514-0009

津市羽所町700番地

アスト津3階

みえ市民活動ボランティアセンター

Tel.059-222-5981

Fax.059-222-5971

E-mail seiknpo@pref.mie.jp

NPOチームのホームページ

<http://www.mienpo.net/npot>

三重県のホームページ

<http://www.pref.mie.jp>

市民活動ニュースはこちらにあります!

【地域の市民活動センター等】津市市民活動センター(津市大門7-15 津センターバレス3階)/オールウェイズ(津センターバレス1階)/津中央郵便局ボランティアコーナー(津市中央)/(有)デザインオフィス萩野(津市大谷町301-1)/市民活動情報ネットワークすずかのぶどう(鈴鹿市白子駅前18-15)/南勢町市民活動連絡協議会(南勢町五ヶ所浦3917町民文化会館内)/特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会(伊勢市黒瀬町1323-4)/鳥羽NPOネットワークセンター(鳥羽市鳥羽1-3-8)/市民活動共同センター(桑名市中央町1-8 東和ビル内)/四日市市市民活動センター(四日市市蔵町4-17)/アミ・ノット・スペース内(特)地域づくり考房みなと(四日市市川原町26-13)/寺子屋プロジェクト(四日市市天ヶ須賀4丁目9-19)/ウエアム テルス・アップル まちづくりセンター(上野市福屋町3317番地)/みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700アスト津3階)/上野市中央公民館/上野市立図書館/上野市民ITサポートセンター(特)平成・伊賀LAN事務所/上野青年会議所/名張市立図書館/名張青年会議所/皇学館大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター/エコリソート赤目の森(名張市上三谷268-1)/明和町市民活動サポートセンター(明和町馬之上944-5)/松阪大学(松本市久保町1846)

【地域の社会福祉協議会】県内69の市町村社会福祉協議会

【金融機関】百五銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店

【行政機関等】三重県庁県民ホール(津市広明町13)/三重県地域機関(各県民局)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)/三重県民サービスセンター(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県女性センター/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/各市町村役場

【NPOチームからのお知らせ】

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は8団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPOチーム及び各県民局生活環境部に備え置いてあります。

認証申請団体

(1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地

(1)介護障害福祉事業団いきいき

(2)木村晃康 (3)津市寿町8番18号

(1)志摩シエスタ

(2)北川博子 (3)志摩郡阿児町国府1285番地83

(1)ライフアカデミー

(2)大辻寿人 (3)伊勢市辻久留1丁目23号

(1)二見浦・實日館の会

(2)小西郁 (3)度会郡二見町大字江569番地2

(1)笹川学童保育会

(2)坂倉芳一 (3)四日市市笹川二丁目211番地

(1)NPOふれあいみえ

(2)南条吉雄 (3)四日市市伊倉1丁目84番地3

(1)ケアプランセンターあすか

(2)富田啓暢 (3)熊野市飛鳥町小阪321番地

(1)植物セラピー普及協会

(2)西村博子 (3)度会郡御園村大字新開字社前942番地3

(平成15年4月16日~平成15年5月15日申請分)

成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

特定非営利活動法人 伊勢志摩バリアフリーツアーセンター

(平成15年2月12日)

特定非営利活動法人 ハート(平成15年2月14日)

特定非営利活動法人 スポーツ応援団IGA(平成15年2月14日)

特定非営利活動法人 生活バス四日市(平成15年4月1日)

特定非営利活動法人 みやま元気の会(平成15年4月7日)

特定非営利活動法人 ホープ21(平成15年4月15日)

特定非営利活動法人 ITサポート三重北(平成15年5月1日)

(平成15年4月16日~平成15年5月15日届出分)

メールアドレスの訂正

先月号でお知らせをしたNPOチームのメールアドレスが間違っておりました。変更をお願いします。正しくは、seiknpo@pref.mie.jpです。

予告

来月号では、地方労働委員会から雇用上、関係がもつれたときどういった救済があるかについての特集記事を組みます。ご期待ください。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。

イベントスケジュール

小津安二郎生誕100年記念

「三重映画フェスティバル2003」

とき / 6月14日(土)~22日(日)

ところ / 三重県総合文化センター

(21日のみ津リージョンプラザで併催)

参加費 / 企画により料金差があります。お問い合わせください。

内容 / 三重県で青春時代を過ごした映画監督、小津安二郎の生誕100年を記念した三重県初の本格的映画祭。小津安二郎のほか、藤田敏八、衣笠貞之助など三重県ゆかりの映画監督を取り上げます。期間中は映画上映に加え、演奏会や講演会なども企画。筑紫哲也、岸恵子など著名なゲストも来場します。詳細はホームページをご覧ください。

【ボランティア・スタッフ大募集】

次のようなボランティア・スタッフを募集しております。

1、6月13日(前夜祭)から22日までの映画フェスティバルに準備段階から可能な限りボランティア参加していただける方(16日は除)。実行委員会のメンバーとして事務局の仕事に参加しても結構です。事務局は毎日開いており、常駐体制です。

2、チケット販売や協賛金集めなどで、支援していただける方。

問い合わせ先 / 小津安二郎生誕100年記念 三重映画フェスティバル2003実行委員会事務局

Tel.059-233-1120(AM10:00~PM5:00)

ホームページ <http://mie-cinemafesta.net/top.htm>

三重県総合文化センターでバス利用促進を目指したエコキャンペーンを実施します 総文へはバスで行くのがお得です!

このキャンペーンは来館者にバスを利用してもらうことで、環境への配慮、公共交通の利用促進、交通アクセスの向上、迷惑駐車防止、駐車場混雑・渋滞の緩和への協力となることを目的としています。また、土・日・祝日に津駅西口発(AM9:20~PM5:10)三重交通路線バスを利用して、センターに来館された方にはセンター内や周辺の飲食店で割引などの特典が受けられるチラシを配布するなど、利用者にお得なサービスも見逃せません。

とき / 平成15年6月1日(日)~平成16年3月31日(水)の土・日・祝日

問い合わせ先 / 三重県総合文化センター総務部企画広報総務グループ Tel.059-233-1103

ホームページ <http://www.center-mie.or.jp/>

『笑え!五体不満足』あの、ホーキング青山来る!!

とき / 6月15日(日)PM2:15~PM3:15

ところ / 三重県社会福祉会館 5階研修室

(津市桜橋2-131) 参加費 / 無料

内容 / 三重県ボランティア連絡協議会の代議員会の記念講演としてお招きするホーキング青山さんの講演を、一般のみなさまにもお聞きいただくとう企画しました。お気軽においでください。

【講師 / ホーキング青山さんプロフィール】

本名:青山 世多加(あおやませだか) 1973年(昭和48年)東京大田区生まれ。先天性多発性関節拘縮症のため、生まれたときから両手両足は使えない。1994年に大川興業の若手芸人コンテスト『すつとこどっこい』で、「史上初の身体障害者のお笑い芸人」「ホーキング青山」としてデビュー。2002年『ここがヘンだよ日本人』(TBS系)に出演し、デビュー後、初めてネタが電波に乗る。現在、「他に比類なきジャンルのお笑い」の確立を目指し、お笑いライブやイベント・講演会等で、日本中どこにでも出演中。

申込方法 / 会場の関係がありますので、なるべく事前申込を。

主催・申込・問い合わせ先 / 三重県ボランティア連絡協議会(会長:泰道)Tel.0596-36-0014(副会長:萩野)059-221-5389



老人介護講演会

「老いてもいつまでもその人らしく地域で暮らす」

とき / 6月22日(日)AM10:00~PM4:00

ところ / 名張ふれあいホール

内容 / お年寄りの外出などを応援する自立支援ボランティア団体、和嬉会愛(わきあいあい)主催。「間違わない介護用品の選び方と使い方」、「痴呆の家族を抱えて」、「痴呆性老人の生活ケア」について講演を行います。なお、昼食時に配食サービスのお弁当を50食限定で紹介(要予約)。手話通訳、要約筆記もあります。

申込・問い合わせ先 / ボランティアグループ和嬉会愛(担当:中山) Tel.&Fax.0595-68-2390

「人形劇の世界から子どもの育ちをみつめて」

とき / 【思春期編】6月23日(月)PM7:00~PM9:00

【子育てまっ最中編】6月24日(火)AM10:00~正午

ところ / 四日市市富州原地区市民センター会議室

参加費 / 会員500円 一般800円

内容 / 講師は人形劇団ひばりあむ主宰の永野つみさん。永遠に続くように思われる「子育て」も子どもの人生から見れば、あっという間の短い期間。肩の力をぬいて子育てをみんなで楽しみましょう。舞台の裏側から親と子の姿を見続けてきて、演劇と子育てはとてもしていると語る永野さんの話を聞いてみませんか。なお、24日のみ、有料の託児があります。

申込・問い合わせ先 / 四日市きた子ども劇場

Tel.&Fax.0593-63-3728

アスト茶ろん

とき / 6月29日(日)PM1:00~PM4:00

ところ / アスト津3階 みえ県民交流センター・交流スペース

(津市羽所町700) 参加費 / 無料

内容 / アスト津を利用しているNPO関係者やセンター入居団体、一般市民や学生などが交流できる場として企画しました。当日はバンド演奏や踊り、チーム対抗アスト津クイズ、お茶タイムなどを予定しています。気軽に参加し、であいと発見を体感してください。

問い合わせ先 / みえ市民活動ボランティアセンター

Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971

E-mail seiknpo@pref.mie.jp

特定非営利活動法人 こどもサポート鈴鹿文化芸術事業

親と子どものミュージカル

『いどいつとイッパイアツテナ パート2-ひといだち-』

とき / 7月5日(土)開場PM6:00 開演PM6:30

ところ / 鈴鹿市民会館

料金 / 前売3000円 当日3500円(3才以上同一料金)

お得な親子券もあります。詳しくはお問い合わせください。

内容 / ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズによるミュージカル。ねこが書いた、ねこたちの知恵と勇気と友情の感動作。

主催・問い合わせ先 / 特定非営利活動法人 こどもサポート鈴鹿

Tel.&Fax.0593-83-1322

ホームページ <http://www4.famille.ne.jp/kodomosz/>

NHK学園専攻科CSネットワークセミナー

とき / 7月6日(日)PM1:00~PM3:30 参加費 / 500円

ところ / 三重県教育文化会館5階大会議室(津市桜橋2-142)

内容 / 日本経済の不安、行政機能の中央から地方への移管などの流れの中で、安心して老いる(生きる)という福祉への関心は高まっています。今回、NHK学園専攻科の山本正興先生に、「経済学の視点から見た福祉社会」という演題でお話しをうかがいます。

申込方法 / 申込みの際、氏名と次のいずれかをお知らせください。(1、CSネットワーク会員 2、修了生 3、在校生 4、一般)

申込・問い合わせ先 / CS三重(担当:福島泰子)

Tel.&Fax.0593-22-1838

I LOVE わんちゃん 盲導犬の普及と育成にかけた33年のあゆみ

とき / 7月13日(日)PM1:45~ 参加費 / 入場無料

ところ / アスト津4階アストホール(津市羽所町700)

内容 / 河西光中部盲導犬協会会長・全国盲導犬施設連合会事務局局長を迎え、講演と歌のつどいを開催。歌は盲導犬使用者の明野の木村靖子さんが歌うみずずの世界(大西進曲)と日本・イタリア歌曲。補助犬グッズの展示即売もあります。10月1日の民間施設(お店)へ

の入店開放を多くの人に知っていただくために三重補助犬普及協会が準備する「NPO法人成立記念のついで」です。

問い合わせ先 / 514-0033 津市大門7番1号津センターパレス3階 津市市民活動センター内 特定非営利活動法人三重補助犬普及協会 Tel.&Fax.059-222-8419

イベント塾～専門書が教えない企画、運営のちょっとしたコツ～

とき / 7月27日(日)PM2:00～ 応募締切 / 7月22日(火)
ところ / 松阪市観光協会会館(松阪駅前ベルタウン2階 旧近代劇場)
参加費 / 無料(30歳以上の方運営費分担金として1000円)
内容 / イベント成功には、企画・運営にちょっとしたコツがあります。専門書には書かれていない実体験を元にした内容で、イベントを実施したいと考える方々が即戦力になれるようお伝えします。また、イベントには危険もたくさんあります。それらをできるだけ事前に処理し、当日に起こるトラブルの処理にも対応できる内容とします。内容として、企画立案・経費算出・公募のコツ・クレーム処理・保険・屋外の風雨対策・会場配置・スタッフ作業・必要備品などを予定。

申込方法 / 「イベント塾 案内希望」と明記の上、住所・氏名・年齢・電話・E-mailをご連絡ください。

主催・申込・問い合わせ先 / チャンネルM(イベント塾担当)515-0811 松阪市塚本町554-105号室 Tel.090-3385-6958 Fax.0598-22-0908 E-mail ch-m@m5.dion.ne.jp

ネットワークのよびかけ

ブラジル交流イベント実行委員会(仮称)メンバーになりませんか?

1973年11月に三重県とブラジルのサンパウロ州の間に友好の橋がかかり、今年でちょうど30年。日本と韓国で共催されたサッカーW杯の優勝国であり、街角にはブラジル料理店もあります。

でも、日本人とブラジル人の間にはどこか壁がありませんか? 県国際チームでは、この30周年を迎えて県民の方と一緒にブラジル交流イベントを開催したいと思えます。この交流イベントの実行委員会でみんなで知恵を出し合って、一緒にイベントをおこない、どこか遠くに感じているブラジルの方を身近に感じましょう。まずは、以下の日程でキックオフ!ブラジルに興味のある方は誰もが参加できる委員会を目指しています。

とき / 6月15日(日)PM1:30～PM4:30
ところ / アスト津3階交流スペース(津市羽所町700)
申込・問い合わせ先 / 三重県国際チーム(担当:世古口)
Tel.059-222-5974 Fax.059-222-5984
E-mail kokusai@pref.mie.jp

助成金 ニュース

緑と水の森林基金

受付締切 / 6月16日(月)
助成の対象となる団体 / 地方公共団体(県を除く)法人、その他の団体、個人。
助成の対象となる活動 / 1、普及啓発森林。2、調査研究。3、活動基盤の整備。4、国際交流。
助成の額 / 限度は団体200万円(特別な事業は300万円)個人100万円。
応募方法 / 申請書はホームページからダウンロードすることもできます。
問い合わせ先 / (社)国土緑化推進機構「緑と水の森林基金」係
102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5 Tel.03-3262-8451
Fax.03-3264-3974 ホームページ <http://www.green.or.jp>

緑の募金公募

受付締切 / 6月16日(月)
助成の対象となる活動 / 【1、国内緑化事業関係】
国内で行う次のいずれかに該当する事業。
(1)2つ以上の都道府県にわたる広域的な見地から行う森林の整備(植栽、下刈、間伐などの事業)緑化推進を目的とするイベント。(2)居住する都道府県以外で行う森林整備。(3)川上と川下が連携して行う森林整備。(4)その他、上記に準ずる森林整備及び緑化推進を目的とするイベントなど。
【2、国際緑化事業関係】

海外で行う次のいずれかに該当する事業。
(1)砂漠防止や熱帯林再生のための造林。(2)土砂流出防止・水源かん養・薪炭林造成などの森林保全管理。(3)公園・学校の植樹などの緑化。(4)苗畑整備や育苗。(5)山火事防止などの森林パトロール、被害調査などの森林保全管理。(6)その他、上記事業に付帯するセミナーや給水施設整備など。
助成の額 / 一事業につき300万円を限度とする。
問い合わせ先 / 【国内緑化事業関係】社「国土緑化推進機構」緑の募金」係
102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5
Tel.03-3262-8451 Fax.03-3264-3974
ホームページ <http://www.green.or.jp>
【国際緑化事業関係】財「国際緑化推進センター」緑の募金」国際緑化公募係
112-0004 東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル
Tel.03-5689-3450(代) Fax.03-5689-3360

21世紀をになうー伸びゆく子どものための活動資金

受付締切 / 6月24日(火)
助成の対象となる団体 / 地域社会で意欲的に「児童の健全育成活動」をすすめている次のような団体。または地域で活動するグループ・組織。
1、子ども会、青少年クラブ・サークルなどの青少年団体。
2、青少年自身の組織や、子どものための地域育成グループ・団体。
3、地区社会福祉協議会など、小地域における推進機関。
4、自主的な運営による、地域の児童健全育成活動を行っている民間施設。
助成の対象となる活動 / 国内における児童健全育成活動であり、団体組織内の固有の活動ではなく地域に幅をもった活動で、かつ補助金・助成金だけでなく、会費などの自主財源など、経費面での自己努力のある活動。
応募方法 / 所定の申請書を使用し、必ず市町村社会福祉協議会の推薦を受けてください。また申請書は朝日生命厚生事業団ではなく、県社会福祉協議会に提出してください。
問い合わせ先 / 朝日生命厚生事業団 160-0023 東京都新宿区西新宿1-9-14 Tel.03-3342-0604 Fax.03-3340-5823

野村国際文化財団 芸術文化助成

受付締切 / 6月25日(水)必着
助成の対象となる活動 / 【1、美術】既存美術館の開催する展覧会のうち、特に教育的色彩を重視するものに対する助成。その他、美術教育に係わる催事への助成。
【2、音楽・オペラなど】オーケストラ、室内楽、独奏、合唱などの活動で教育プログラムを重視した催事への助成。音楽家の海外留学または研修への助成。音楽普及と向上を目的とした国際的活動の助成。
【3、芸術文化の国際交流を目的とする活動や催事開催への助成】
助成の対象となる団体・個人 / 助成対象となる活動を行う団体および個人。外国人の場合、日本国内における受入れ責任者(団体)が代わって申請。
対象事業の期間 / 下半期(平成15年10月～平成16年3月)の活動。上半期(4月～9月)の活動は12月に募集があります。
応募方法 / 指定の応募用紙を請求。必要事項を記入し郵送。
問い合わせ先 / (財)野村国際文化財団事務局 103-0027 東京都中央区日本橋1-9-1 Tel.03-3271-2330 Fax.03-3281-8522
ホームページ <http://www.nomuraholdings.com/jp/bunka-zaidan/>

(社福)NHK厚生文化事業団「わかば基金」

受付締切 / 6月27日(金)必着
助成の対象となる団体 / 地域で活発な福祉活動を進めているグループ。法人は助成対象外ですが、NPO法人は申請できます。
助成の額 / 1グループにつき上限70万円。約15グループ支援予定。
応募方法 / 申込書は下記より取り寄せるか、ホームページからダウンロード。申請は郵送のみ受付です。Faxでは受付できません。
申込・問い合わせ先 / (社福)NHK厚生文化事業団 150-0047 東京都渋谷区神山町4-14 第三共同ビル6階 Tel.03-3481-7855 Fax.03-3481-7674 ホームページ <http://www.npwo.or.jp>
(社福)NHK厚生文化事業団中部支局 461-8725 名古屋市中区東桜1-13-3 NHK名古屋放送局内 Tel.&Fax.052-952-7150

日本財団

【ボランティア・NPO活動助成金】
受付締切 / 6月27日(金)消印有効
資料請求は6月19日(木)PM5:00締切
助成の対象となる団体 / 日本国内に所在するボランティア団体・NPO法人。

助成の対象となる活動 / ボランティア団体・NPO、企業、行政などが「良きコミュニティづくり」という共通の目的のためお互いを尊重しながら事業を行うもので、単独の団体が行う場合よりも、それぞれのセクターの特徴をいかし、人材、モノ、資金、ノウハウ、情報といった面で協力していくことにより、大きな社会的成果をあげることが期待できる事業。

助成の額 / 原則、上限200万円。

応募方法 / 資料はハガキまたはFaxに団体名、代表者名、郵便番号、住所、電話番号を書いて下記へ請求するか、ホームページからダウンロード。

問い合わせ先 / 日本財団 ボランティア・NPO活動助成金資料請求係 107-8404 東京都港区赤坂1-2-2 Tel.0120-77-1089(土日祝日を除くAM9:00~PM5:00) Fax.03-6229-5330

E-mail volunteer@ps.nippon-foundation.or.jp

ホームページ http://www.nippon-foundation.or.jp/

【福祉車両(車いす対応車)助成】

受付期間 / 6月2日(月)~7月31日(木)消印有効

助成の対象となる団体 / 送迎・移送サービス事業を行っているボランティア団体・NPO法人。詳細は資料を参照。

助成の額 / 日本財団仕様車いす対応車の中から1団体1車種を選び、本体費用にリフト・スロープなどの特殊装置代を加えた総額の90%を財団が負担。

応募方法 / 「ボランティア・NPO用福祉車両資料希望」と明記し、団体名、担当者名、郵便番号、住所、電話番号を記入のうえ、下記までFaxで資料を請求するか、ホームページからダウンロード。応募は郵送または宅配便で。

問い合わせ先 / 日本財団ボランティア支援部 福祉車両(車いす対応車)係 107-8404 東京都港区赤坂1-2-2 Tel.03-6229-5173(土日祝日を除くAM9:00~PM5:00) Fax.03-6229-5330

E-mail volunteer@ps.nippon-foundation.or.jp

ホームページ http://www.nippon-foundation.or.jp/

丸紅基金社会福祉助成事業

受付締切 / 6月30日(月)消印有効

助成の対象となる団体 / わが国における社会福祉事業(福祉施設の運営、福祉活動など)を行う民間の団体。原則として非営利の法人。ただし、法人でない場合でも3年以上の継続的な活動実績があり、組織的な活動を行っている団体は対象となります。

助成の額 / 総額1億円をめぐり50件以上、1件あたり原則、上限200万円。

応募方法 / 所定の申込用紙に必要事項を記入し、所定の添付書類と共に送付。申込用紙は郵便番号と住所、団体名、電話番号、Fax番号、丸紅基金の助成を知った経緯を明記し、ハガキまたはFaxにて下記まで請求。

問い合わせ先 / 社会福祉法人丸紅基金 100-8088 東京都千代田区大手町1-4-2丸紅東京本社ビル Tel.03-3282-2474・7014

Fax.03-3282-2462 E-mail mkikin@marubeni.com

ホームページ http://www.marubeni.co.jp/kikin/fund.htm

清水基金助成

【心身障害児・者福祉施設従事者海外研修事業】

受付締切 / 6月30日(月)

助成の対象 / (1)社会福祉施設を営む社会福祉法人及びその関連団体において心身障害児・者の処遇等に従事しており先進・革新的な高次の課題に意欲をもって挑戦する方のうち、基金の選考試験(英会話能力試験を含む)に合格した方。(2)原則として30~50歳で、現在の業務に5年以上継続的に従事、研修後も引き続き現在の業務に従事する意志を有する方。(3)日常的に英会話ができる方。(英会話以外の語学力を有する方は応相談)

研修内容 / Aコース...デンマークでの合同研修後、研修者自身が設定するテーマにより必要な機関・施設で実施。(3カ月)

Bコース...デンマークにおいて集合研修。(1カ月)

【施設等一般助成事業】

受付期間 / 6月1日(日)~8月31日(日)

助成の対象となる団体 / 知的障害関係施設・身体障害関係施設(含む盲・ろうあ施設)を営む社会福祉法人。(公有、無認可団体、個人を除く)

助成の内容と額 / 施設及び地域福祉に必要な建物(新築、改修、増改築)・車両・機器など。総額1億2500万円以内。1法人あたり100万円以上700万円以内。

... ..

応募方法 / 申込書類などは返信用封筒(A4版宛名記入・140円切手添付)を同封のうえ、下記まで。

問い合わせ先 / 清水基金 104-0031 東京都中央区京橋2-16-1 京橋清水ビル Tel.03-3535-6231 Fax.03-3535-6303

国際交流基金日米センター 一般公募助成事業

受付締切 / 7月1日(火)必着

(原則として、平成15年10月~平成16年3月までに開始のプロジェクト対象)

翌年4月以降に開始されるプロジェクトを対象とする締切は12月1日(月)

助成の対象となる団体 / 日米いずれかにある非営利団体(大学、研究所、図書館、NPOなど)日本の場合、法人格のない団体(任意団体)でも申請資格有り。

助成の対象となる活動 / 【知的交流】...日米両国の専門家が共同で行う政策指向型研究および知的対話プロジェクトを支援します。地球的視野での課題解決と、課題解決の基礎となる相互理解の増進に取り組む日米の専門家のコミュニティ間に新しい知的交流の場を築くことに重点がおかれています。【地域・草の根交流】...日米両国の市民が、対話により相互理解を深め、また共通の課題に共同で取り組むための交流プロジェクトを支援する「市民交流プログラム」と、日米間で互いに相手国について偏りのない総合的な理解を深めるための教育プロジェクトを支援する「教育を通じた相手国理解促進プログラム」があります。

応募方法 / ガイドライン及び申請書は下記へ申込んでください。また正式な応募に先立ち、プロジェクトの企画を簡単なコンセプトペーパーにまとめ、申請締切の2カ月前をめぐりに日米センターへご提出いただくことをお願いしています。このコンセプトペーパーに基づき事前相談を行います。

問い合わせ先 / 国際交流基金日米センター

107-6021 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル20階

【知的交流】事業第1課 Tel.03-5562-3542

【地域・草の根交流】事業第2課 Tel.03-5562-3543

ホームページ http://www.jpf.go.jp/j/region_j/cgp_j/index.html

(ガイドラインの閲覧および申請書のダウンロードが可能です)

JATA環境基金 地球にやさしい環境学習支援助成

受付締切 / 7月15日(火)必着

助成の対象となる団体 / 小学校のほか、小学校での学習活動に対し支援・協力されている環境ボランティア団体など、地域の協力者。

助成の対象となる活動 / 日本全国の小学校における「自然環境」をテーマにした学習活動 「総合的な学習の時間」における活動をはじめ、学年やクラス、またある課題に対する興味や関心別に編成されたグループ、異年齢の子どもたちによるグループなど、個人活動以外の諸活動を対象とします。また、以下の応募条件を満たしてください。

(1)地域の方々の協力。(2)応募活動の継続。

対象事業の期間 / 平成15年4月1日(火)~平成16年3月31日(水)

助成の額 / 必要不可欠な物品の購入費として、上限10万円まで助成。

応募方法 / 用紙などは下記に請求するか、ホームページからダウンロード。

問い合わせ先 / JATA環境基金事務局 105-0013 東京都港区浜松町1-2-7-9 新浜松町ビル6階 セブン環境NPOセンター内(担当:高木)Tel.03-5777-0387 Fax.03-3435-1065 E-mail ecofund@jata-net.or.jp ホームページ http://www.jata-net.or.jp

(財)松翁会社会福祉助成金

受付締切 / 7月31日(木)

助成の対象となる団体 / 【1、事業助成】...原則として法人施設、団体。ただし、法人格をもたない団体であっても、特に助成することにより効果が期待できる場合は対象とすることもあります。個人は除きます。

【2、研究助成】...法人施設、団体または研究グループ

助成の対象となる活動 / 1、社会福祉の向上を目的とした企画であること。2、当該案件が公の援助を受けていないこと。3、明確な企画(目的、内容、資金使途など)であること。4、先駆的、開拓的事業を優先。

助成の額 / 年間総額1000万円程度。1件あたり原則80万円程度。

応募方法 / 所定の申込用紙に必要事項を記入したうえ、必要書類などを添付し、下記レポートで申込んでください。なお、申込用紙の社会福祉協議会などのコメント欄には各助成金申込団体と関わりのある県・市町村社会福祉協議会または、県及び市町村などに記入を依頼してください。

1、県・指定都市社協(受付) 申請団体 松翁会

2、松翁会(受付) 申請団体 松翁会

問い合わせ先 / (財)松翁会事務局 100-0004 東京都千代田区大手町1-5-4 大手町フィナンシャルセンター3階 Tel.03-3201-3225

日韓文化交流基金 人物交流助成下半期募集

【1、青少年・草の根交流】

受付期間 / 7月1日(木)~8月1日(金) 上半期は例年1月~2月に募集)

この他に【2.シンポジウム・国際会議】【3.芸術交流】の分野があります。どちらも助成対象が専門家となるため、興味のある方は下記のホームページをご覧ください。
 助成の対象となる団体 / (1)日本国内又は韓国国内を事業実施地とすること。(2)日本もしくは韓国に所在する非営利・非宗教・非政治の団体および研究機関(大学、NPO等)であること。個人に対する助成は行いません。
 (3)助成の対象となる参加者は日本もしくは韓国の国籍を有していること。
 助成の対象となる活動 / 次のような事業を助成の重点対象としています。
 ワークショップ、ディスカッション、フィールドワークなど参加者の能動的な参与を求めるプログラム・日韓大学院生間の各専門分野における研究交流・ホームステイを日程に取り入れた青少年の交流。
 対象事業の実施期間 / 平成15年10月～平成16年3月
 助成の額 / 事業全体予算額の50%以内。渡航費、宿泊費を対象に上限

150万円。
 応募方法 / 所定の申請用紙は下記に申込むか、ホームページからダウンロードして使用し、郵送にて申請。
 問い合わせ先 / (財)日韓文化交流基金 105-0001 東京都港区虎ノ門5-12-1虎ノ門ワイコビル3階 Tel.03-5472-4323
 Fax.03-5472-4326 ホームページ <http://www.jkcf.or.jp/>
 助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。
 財団法人 助成財団センター
 Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858
 ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

各分野のネットワークから

子育て支援キャラバン 協働実践レポート "パート2"

昨年の10月から今年の3月まで各地域で活躍したキャラバンスタッフからの報告第2弾です。

本当に住民の求める「子育て支援システム」を創っていくためにも、行政担当者の方には、「子育て」に直接関わって欲しい。つまり、育児研修ということで、男性にも育児休暇を取得することを、積極的に推進してはどうか。多くの立派な外観の公共施設が、雨の日にベビーカーを押して訪れる者に、何の配慮もされていないことに気付いて欲しい。(中勢)

「もっと子育て?」3才の子がいますが、子育て支援の催しや育児サークルに参加したことがありません。「もっと子育てを」「もっと良い母を」と望まれているようで…。密着しすぎて、子どものかわいさを感じられないことが、「専業ママ」の苦悩でしょう。外の世界の厳しさに直面した時の方が、子どもといられる喜びを実感できるのかもしれませんが。(北勢)

行政と住民の協働に関しては、お互いに戸惑いを感じていて、あまりうまくいっていないように感じました。地域の子どもたちをどう育てていくかという意識の下に、自立した住民(個人または団体)と信頼関係を築くことが必要だと思います。また、住民意識の底上げとともに、自立を支援することも行政の重要な役割なのではないでしょうか。(東紀州)

・「NPOと県との協働」という看板は強力でした。・行政の協力は順調でしたが、アンケートにしても、負担はかなりかけているのではないかと思います。・子育て支援は今必要とされていると実感します。・研究会は「徹底的な議論の場」として位置付けると参加の楽しみは充実する。・保健師の活躍と役割を検診日に伺って、最前線の窓口だと認識。

私にとって、各町の担当者や保健師と顔を合わせる機会ができた事は収穫でした。

支援センターは難しく考えたり、形に拘らなければ、何処にでも作れるものなんだと思います。公園デビューという言葉がありましたように、子育てサロンデビューの場をつくるのは、行政の枠があるとしたら、そこから外へどの程度はみ出すことを許容範囲とするか、それがやっぱり、「人次第!」なんだな～と思います。(南勢志摩)

「子育て」この言葉にどれほどの重みがあるのだろう。昔はこの重みを親・地域で受け止めていた、今は行政・NPOも入れて受け止めなければその重みに耐え切れなくなっている。「温度差」などと言っていないで、上も現場もうまく混ざりあって、受け止めなくてはいい。と、思います。(北勢)

「キャラバンが何してくれるの?」行政や支援センターを回った時に聞かれた質問です。キャラバンのスタッフになることで、存在さえ知らなかった地域の子育て支援センターを初めて見学することができ、行政の方や先生方、普段お話をすることのできない多くの方に出会い、子育て支援への熱い思いをお聞きすることができました。私たちの集めた情報がひとりでも多くの保育者の応援になれば...という思いで今日もどこかで「子育て情報の百貨店を目指して」キャラバンが走っています。(北勢)



特定非営利活動法人久居市子育て支援ネットワークNPOだんど
 514-1116 久居市新町3006ポルタひさい1階 Tel.059-254-6080 Fax.059-254-6090
 E-mail dondo@pasoya.jp ホームページ <http://www.pasoya.jp/dondo/>
 子育て支援キャラバン事務局 上記、NPOだんど内 E-mail caravan@pasoya.jp
 ホームページ <http://www.pasoya.jp/caravan/>



志摩地区

志摩市民活動通信・SANPO
 517-0502 志摩郡阿児町神明764-165
 志摩サイバーベースセンター310号室SURF内
 Tel.&Fax.0599-43-4564(留守番電話になっています)
<http://www.sanpo.info>

志摩NPOチャンネル開局!

～松阪ケーブル8chにて無料放送中!～
 松阪ケーブル・志摩センター88chにて、NPOや市民活動を紹介していく「志摩NPOチャンネル」がスタートしました。
 2時間の放送枠で1日6回の繰り返し放送です。撮影したビデオテープを持参すれば、OK!(2時間以内)。精力的に活動している志摩郡内のNP

O団体であれば、参加することができます。皆さんの活動をたくさんの方に知っていただけるチャンスです!詳しいことは下記まで...

問い合わせ先 / 松阪ケーブルテレビ・志摩センター
 志摩郡阿児町鶴方3016-24
 Tel.0599-44-4848 Fax.0599-43-9567
 または志摩市民活動通信まで

さんばきっず大募集! = 第2弾! 夏休み編 =

～志摩地域の市民活動に興味のある子ども達あつまれ!～
 みんなで取材して、ケーブルテレビで発表しよう!

第一弾の様子はさんばのHP、志摩NPOchで見てください。

募集人数 / 6組(3人一組で応募してください)応募多数の場合は抽選

対象 / 志摩郡在住の小学5・6年生～高校生

締め切り / 7月末日
 松阪CATV(志摩4町)・ZTV(磯部)に発表します。



イベント情報

志摩フィールドキャンパス21 【里山の夜を楽しもう!】
 とき / 6月15日(日)PM6:00～PM8:00(雨天中止)
 参加費 / 大人・子ども 100円 募集人数 / 30名
 内容 / 夜の野生動物の観察。パンブーキャンドルの鑑賞など...
 詳しくは事務局にお問い合わせください。
 問い合わせ先 / SFC21事務局
 志摩郡阿児町立神1952-1 Tel.0599-45-5028

▶▶▶▶▶ がんばれネットワーク ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。CAPみえ事務局の角井多万紀さんからバトンが渡ったのはCAPみえで共に活動する一方で、老人保健施設での音楽ボランティアを続けている大嶋敬子さんです。

老人保健施設で音楽を一緒に楽しむ

.....老人保健施設にボランティアに行かれているそうですね。四日市市にあるみえ川村老健に毎週月曜日、「すみれの会」というグループで音楽のボランティアに訪れています。

.....ボランティアを始めたきっかけは？
音楽ボランティアはみえ川村老健ができた時から、地域の方々が担当されていたのですが、10年ほど前に中心になって指導していた方が退くことになり、私の高校時代の友人に依頼が来たのです。彼女は声楽やピアノを教えていたものですから適任だったんですね。その時、彼女から「良かったら、一緒にやらない？」と誘われたのがきっかけです。「お手伝いくらいならできるかな」という気持ちで、友だちにくっついて行ったんですよ。

.....初めはお友だちと二人だったのですか？
いえ、以前の指導者の方が抜けただけで地域のボランティアの方々はそのまま活動を続けていました。

.....音楽のボランティアとは、どんなことをしているのですか？
1時間ほど、童謡や歌謡曲と一緒に歌ったり、楽器の演奏をしたり。時々、お話しや体操、手品などを交えて楽しく過ごしています。

.....参加者は老健に入所されている方ばかりですか？
入所者の方に加え、デイサービスに訪れている方も参加されています。時間になると入所されている方はフロアスタッフの方々が連れてきてくれますし、デイサービスの方も集まってきてくれます。すっかり顔なじみの関係ができて、一番前の席に座る方はほとんど決まっているくらい。別の人が座ろうとすると横の人が「そこは さんが来るから」と言うほど。みんな、楽しみにしてくれているんですね。

.....顔なじみになると張り合いも増すでしょう？
最初は「お年寄り」とひとくりに考えていたのですが、回数を重ねて行くうちに顔なじみにもなるし、それぞれの個性も感じてきました。先方も私たちが行くど「待ってたよ」という顔で迎えてくれるんです。

.....参加者の顔や名前も覚えているのですか？
名札などもありますからね。名前と言えば、毎月最初の日が「ハッピーバースディ」を歌うんです。歌詞の「ハッピーバースディ デア」のところ、「今月、お誕生日の方は？」と名前を聞き、その方

たちの名前を入れて歌います。自分の名前を ちゃんとみんなに歌ってもらいと、すごく喜んでくれますね。

.....ボランティアのなかで、大嶋さんの役目は何ですか？
進行役です。1時間、歌を歌うだけでは間が持たないし、大変です。ですから途中で体操やお話しなどを入れて、進めていくのが私の役目です。私自身、歌は大好きですが上手に歌えないし、演奏もできないので、自然と進行役という風になっていきました。

.....体操はどこかで勉強してくるのですか？
自分の知っている体操をすることもあれば、ボランティアのなかで、体操を日課にされている人に出てもらって教えてもらうこともあります。97歳の方なんですけど、すごく耳の良い方がいるんです。その方が毎日、家で耳の体操をしていると聞いたら、先生になってもらうとか。ボランティア仲間にも前に出てもらって、積極的に関わってもらいたいなと思っているんです。もちろん、一度お願いしてみて、「今日は止めておくれ」と言われたら、それ以上無理強いはいしません。

.....積極的に参加することで、楽しみも増えますよね。
ええ。体操が得意な人には体操。お話し上手な人、歌の上手な人、楽器の演奏ができる人、手品ができる人、歌詞カードをめくる人...。その時、その時で声をかけています。仲間も、自分の出番があると、やっぱり表情もイキイキするんです。

.....お話しなどは、どんなテーマで？
季節感や行事などを取り入れたりしています。例えば農業をされている方に稲の育っている様子などをお話していただいて、参加者に「以前、農業されていた方は？」と聞いてみたり。ちょっとだけ工夫しています。

.....参加者の様子はどうですか？
身振り手振りを伴って歌われる方など、いろいろな方がみえます。踊りをやってみえた方は扇を持って、前で歌に合わせて踊ったり...。.....このボランティアに参加するようになって何年になりますか？
友だちと一緒に来たのが10年前。彼女がお連れ合いの転勤でボランティアを抜けてから7年になりました。

.....お友だちと一緒に止めようとは思わなかったのですか？
私はピアノも弾けないし、指導もできないんですけど、この集まりが終わってしまうのも、もったいない気がしたんです。それで「私、続けてやってみるわ」と話したところ、友だちが、今、演奏を担当している井垣文治さんを紹介してくれました。井垣さんは以前、長島温泉でプロ歌手の伴奏をされていたんですよ。

.....井垣さんは最初からリリ気だったんですか？
最初は「僕、血圧も高いし、体調も良くないんですよ」と言いながら来てくださったんです。それが終了後に「来週も大嶋さん、来ますか？」と聞かれ、「私、毎週来ますよ」と答えて。翌週も「大嶋さん、来週も来ますか？」「ええ、よほど用事が無い限り、来ますよ」以来、ずっと来てくださっています。お友だちも一緒に連れて来てくださって、その方が手品や尺八を披露してくれたり、クイズや紙芝居などをしてくださることもあります。

.....井垣さんはどんな楽器を使われているのですか？
何でもできるんですけど、今は会場にある電子オルガンを主に使っています。井垣さんが凄いのは懐メロ、歌謡曲なら何でも来いというところ。リクエストを出せば、ほとんど弾いてくださいますし、弾けな



い曲があった時「次までに楽譜を見ておくれ」とおっしゃって、弾いてくれます。メロディはもちろん、間奏から何から、全部指が覚えているんですよ。これは私たち、すみれの会の特徴だと思っています。懐メロをリクエストに応じて弾ける人は少ないでしょう。その証拠に井垣さん、今では他の施設や老人会の集まりにも呼ばれるなど、ひっぱりだこになっていますよ。

あまり難しく考えないで、 気楽にやってきたから続いたのかな。

……井垣さんもやりがいがあるでしょう？
ボランティアを続けるうちに、井垣さん自身もすごく元気になりました。それを見ている私たちまで嬉しくなりました。昨年、四日市市の社会福祉協議会から表彰もされたそうです。ボランティアの仲間には高齢の方も多いのですが、みなさん、シャキッとされていて、「自分が同じ年になった時にあんなに元気にいられるかなあ」と思うくらい、お手本になる方が多いです。気力があると言うのかな。
……このボランティアはデイサービスの一環として組み込まれているようですが、施設の方から交通費などは支給されていますか？
交通費も自分たちで出していますし、一切何もいただいません。友だちの繋がりや踊りの会の方などに来ていただく時には、施設の方にお茶をお願いするくらいでしょうか。あと、ボランティアが終わった後、お茶をしながらおしゃべりをするんですが、その場所として会議室などを使わせてもらっています。終わってすぐに、「さようなら」じゃなくて、ちょっとお話しくらいはね。
……他の教室などに勉強に行かれることはありますか？
いいえ。老健で他の日に専任のスタッフがやってみえる音楽の時間などは、お願いすれば見学させていただけると思うんですが、一度も行ったことはありません。専門家がきちんと指導しているのを見ると自信がなくなるかもしれない(笑)。私たちの時間は、いろんな経験をしてきた仲間が関わって、1時間楽しく過ごせればいいかなあと思って。今のところ、雰囲気も良いですし、自分たちなりのやり方で続けています。

……大嶋さん自身、楽器を習おうとは思わなかったのですか？
どうも、苦手意識が強くて。桑名市でも音楽療法士の講座が開かれたりしているの、そちらに進もうかと考えたこともありました。演奏できることが条件でしたから。歌を歌うということは一ハビリにとっても良いことだと身体で感じます。1時間、歌を歌ったりしていると気持ち晴れやかになるし、身体がぼかぼかになるんですよ。
……健康づくりにも良いと？
血の巡り先良くなるんでしょうね。それに昔の歌って、いい歌が多いの。
……時代の流れの中で残ってきた曲ですもんね。
皆さん、昔に覚えた歌はよく覚えていますし、高齢の方はすごく喜ばれて、歌いながら涙ぐむ方もいます。歌うことで、その時代の思い出と重なるんでしょうね。それを見ているこちらまで、うるうると来たり。ボランティアの時間が終わると、皆さん良い顔をされていますよ。
……それにしても10年続けてくるのは大変だったでしょう？



すみれの会による、音楽ボランティアの様子です。

あまり難しく考えないで、気楽にやってきたから続いたのかな。私自身はこの時間を、地域の人が関わって、楽しく一緒に歌う時間と捉えているから、長続きしたのかなと思っているんです。

バランスを考えて活動を続ける

……音楽ボランティア以外にも何か活動をされているのですか？
先月号で紹介された、子どもへの暴力防止を訴えるCAPみえというグループ。それに、去年発展的解散をした、女性を取り巻く問題を考える「ぐるうぶ華」に所属していました。「ぐるうぶ華」ではたくさんのステキな仲間と出会うことができました。あと、「平成の町割会」から発展した「桑員まちのファンクラブ」にも参加しています。この集まりは皆さん、積極的に活動されている方ばかりで、私はただ名前を連ねているという感じですが、自分にできそうなことは、これからも関わっていきたくと思っています。あとは趣味かな。

……趣味とは？
習字と茶道を習っているほか、健康体操も休みながらですが十数年続けています。それに旅行とウォーキング。ウォーキングは県が養成講座を開いたウォーキングアドバイザーの資格を持っています。
……それなら健康づくりの指導もできるのでは？
他団体主催のイベントですが、ウォーキング大会でアドバイザーとして参加したことはありますが、そんな大したものでは(笑)。
……様々な分野で活動されていると、顔も広くなるでしょう？
面白いのは、各グループで私の立場が違うこと。すみれの会では私が一番若くて「大嶋さんは、まだまだ若いんだから」と言われるんですけど、CAPみえでは一番年長者。移動の時などでも、電車の席が一つ空いていると「一番年上なんだから座って」と(笑)。ぐるうぶ華の仲間はほとんど同年輩で、人生を豊かにするものと同じように求めて、気楽に動ける仲間なんです。でも、そうやっていろいろあるのいいなって思っているところです。

……時間のやりくりが大変では？
私の場合、それ程でもないですよ。皆さん同じだと思うんですが、自分なりのバランスが大切になって思いますね。一番大事なのは何かと言われれば家庭であり、連れ合い。それが基本です。ボランティアって、家に問題があったらできないことだと思うんです。家族が病気になるったりしたら、それを放り出してまでは、やれないでしょう？
……そうですね。ご家族とはどんな風に過ごされていますか？
最近は連れ合いが以前より早く帰宅できるようになったので、一緒にウォーキングを楽しんでいます。歩きながら、いろんな話をします。
……健康づくりと語らいの時間が一緒にできるわけですね。
あと、彼はこの4月からマンドリンを習い始めたんです。地区の公民館にあるマンドリンクラブで教えてもらっているんですけど、「毎日30分練習をすれば2年ぐらいで曲が弾けるようになる」と言われたようで、毎晩ポロンポロンと練習しています。腕が上がって、仕事も一段落ついたら、一緒にボランティアに行けるといいなあなんて、話をしているんですよ。

すみれの会連絡先(大嶋敬子)
桑名市東方2248-53 Tel.&Fax.0594-22-8293

大嶋敬子さんはこの人を**紹介**します。

小川多恵子さん
北勢町麻生田を活動の場としている主婦グループ「My茶論(さろん)」のメンバー。村の神社で生の演奏や踊りを楽しむイベントを、男性たちも巻き込んで開催しています。

お
ね
が
い

市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のご注意ください。
(1)原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までに送ってください。
(2)送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp
転載を希望される場合は必ずNPOチームに連絡してください。